

男子

女子

中

高

東京都目黒区

目黒星美学園小学校

【理事長】鈴木 裕子

【校長】小島 理恵

〒152-0003 東京都目黒区碑文谷2-17-6 TEL 03-3711-7571(代) <http://www.meguroseibisho.ed.jp/>
【交通】東急東横線 学芸大学駅 JR 目黒駅よりバス（大岡山小学校行き「サレジオ教会」下車）

神様から与えられた一人ひとりを大切に育てます

聖ヨハネ・ボスコの教育

私たちの教育は、一人ひとりをかけがえのない存在として大切にされる神の愛に基づいた教育です。児童・保護者・学校が一つとなり、家庭的雰囲気の中で教育共同体を築きます。「愛情から信頼が生まれ、信頼から教育が生まれる」という聖ヨハネ・ボスコの言葉を大切に、子ども達との関わりの中で知性を磨き、心を鍛え、正しい判断力と自由な選択能力を養えるよう導き、社会と人々に積極的に貢献できる自立した人間を目指します。

いつも子どもと共に

授業だけではなく休み時間も子ども達と共に過ごすことで、親しみの中で信頼関係を築いていきます。教師が喜びを共に体験することが子ども達の満足感にも繋がります。一人ひとりが神様からいただいた力を他者のために使う素地をつくっていきます。

特色ある目黒星美学園小学校の授業

1年生からの専科教育●英語をより身近なものに感じられるよう、英語は少人数での授業を取り入れたり、オールイングリッシュで行ったりと、子ども達が主体的に参加できるよう工夫して行っています。英語だけではなく、豊かな心を育むための宗教教育、音楽、図画工作、体育等も、低学年から専科教員による授業を導入しています。
フィールドワーク学習●2年生から6年生まで、宿泊を伴ったフィールドワークを系統的に行っています。2年生の山中湖での秋の自然教室から始まり、3年生の菅平高原学校、4年生の志賀高原学校、5年生の尾瀬高原学校と夏の男女別合宿、6年生の美ら島学校（沖縄）とスキースクール（白樺高原）と、計7回の合宿を実施しています。自然の中で寝食を共にし、神様の存在を感じることで、豊かな心が育まれます。
共に学び合う子を目指して●どんな教科でも先生の話を一方向的に聴いたり、一人で考えたりするのではなく、友達同士でよく聴き合い、考え合う授業を目指しています。また、ICT（情報通信技術）教育機器も充実させ、iPad mini を利用した授業の工夫も進められています。

上級学校に進むには

女子は本学園の中学校へ、男子の多くは私立中学校へ進学しています。

聖ヨハネ・ボスコ（ドン・ボスコ）

設立母体であるサレジオン・シスターズは、1872年に聖ヨハネ・ボスコにより創設され、共創立者聖マリア・ドメニカ・マザレロを初代の総長として、教育事業と社会福祉事業の面で活動してきました。

聖ヨハネ・ボスコは19世紀、北イタリアのトリノで生まれ、産業革命後の激動の社会の中で、すさんでいく子ども達を見かね、キリストの愛と、常に子どもとともにという考えの上に立って、理性・宗教・慈愛を柱とする予防教育法をもって、青少年の健全な育成のために一生を捧げました。

聖ヨハネ・ボスコの唱えた教育の精神こそ、子ども主体の教育という本学園の精神の基盤になっています。



沿革

子ども達一人ひとりが持っている個性を生かし、伸ばしていくことを目的に、サレジオン・シスターズを母体にして昭和29年、現在の地に創立。その後、中学校に続き高等学校を創立。高校までの女子一貫教育に努めるカトリックのミッションスクールである。

2020年度募集要項

募集人員：男女120人
出願期間：10月1日～10月4日
出願手続：郵送受付のみ（消印有効）
受験料：20,000円
面接日：10月12日、10月19日
審査日（児童テスト）：
A日程11月1日 B日程11月3日
合格発表：A日程11月2日 B日程11月4日

【かかる費用（2019年度参考）】

入学金：250,000円
施設設備費：150,000円
授業料：468,000円
教育充実費：7,000円（月額）
ほかに預かり金32,000円、積立金など
初年度納入金総計：1,098,000円

併設中学進学状況

◆目黒星美学園中学高等学校
※原則として女子の希望者全員が進学可能

2019年春の合格実績

（男子）サレジオ学院、聖光学院、栄光学園、開成、麻布、駒場東邦、渋谷教育学園幕張、浅野、市川、海城、本郷、攻玉社、高輪、聖学院、慶應義塾中等部、青山学院、立教池袋、学習院 など

データパック

◆児童数656人（平成31年4月現在）
／教員数40人
◆19年度応募者数：一
◆合格者数：一

【併設校】

○目黒星美学園中学・高等学校